

令和4年9月30日

最近、来客時にお客様から、「ホームページ見たよ」とか「専務のお話読みました」とか言っていただくことが多くなりましたが、結構恥ずかしいものですね。対外的にオープンにしているから見られるのは当たり前なのですが、たまには会社の真面目な話も入れておかなければと思いました。

当社の環境施策ということで、現在、エコアクション21という環境認証の取得へ向かって取り組んでいるところで、まさに今日までの環境データで申請することとなります。環境データと言えば、総じてCO2の排出量となるのですが、中身としては電気の使用量、水の使用量、ガソリンや軽油といったアブラの消費量、あとは産業廃棄物や一般廃棄物といった廃棄物の排出量等があります。

一般廃棄物は紙くずやシュレッダーゴミなので、皆さんに直接関係してくるものですが、こういったゴミをどういう風に量を計測するかといいますと、メジャーというよりウエイトなんですね。例えばこのシュレッダーゴミをゴミ袋に詰めて、ウエイトをどう測るのか。私の貧困な発想では、体重計のような形のスケールと呼ばれる重量計にゴミ袋をのせるイメージしかなく、そんな機器をこの本社の事務所に置くにはスペースが無いなあと悩むしかありませんでした。ところが、委員会でその話をしたら、「吊りばかり」を入れたらどうかという意見が出てきました。「吊りばかり・・・吊りばかり・・・おお、あれか・・・」その昔、ちり紙交換というのがありましたよね。軽トラに乗ったおじさんが住宅街を回り、古新聞・古雑誌を回収する際に、結わえたヒモをフックに引っ掛けて吊って重さを測ってました。あの吊りばかりだったら、スペースは要らないわけで、なるほどと感心しました。やはり複数人が集まると自分では気づかなかったアイデアが生まれるものですね。

アイデアの出方って、このように他人から得るものもあるのですが、自分一人で発想しようとする、机上ではなかなか出てきません。でも、トイレやお風呂の中だったり、車や電車の中でふと思いつくことがあります。皆さんが当たり前目にするあのQRコードも、電車の中で窓から見える建物の形をぼんやり眺めていて「これだ!」と思いついて誕生したわけですからね。

大事なのは、ふと出てきた発想やアイデアをメモに書き留めるなどして保存し、さらに実行することです。出てきたアイデアを忘れてしまったり、何にもしなかったりすると、折角のアイデアが埋もれてしまいます。来週から当社は第55期に入ります。下手な語呂ではありますが、55だけに、“GO GO”ということで、出てきたアイデアを積極的に取り込んで実行していく、そんな期にしていきたいと思いますのでよろしくお願いします。